

美和ダム 三峰川バイパスの試験運用速報（その1）

バイパス放流の速報

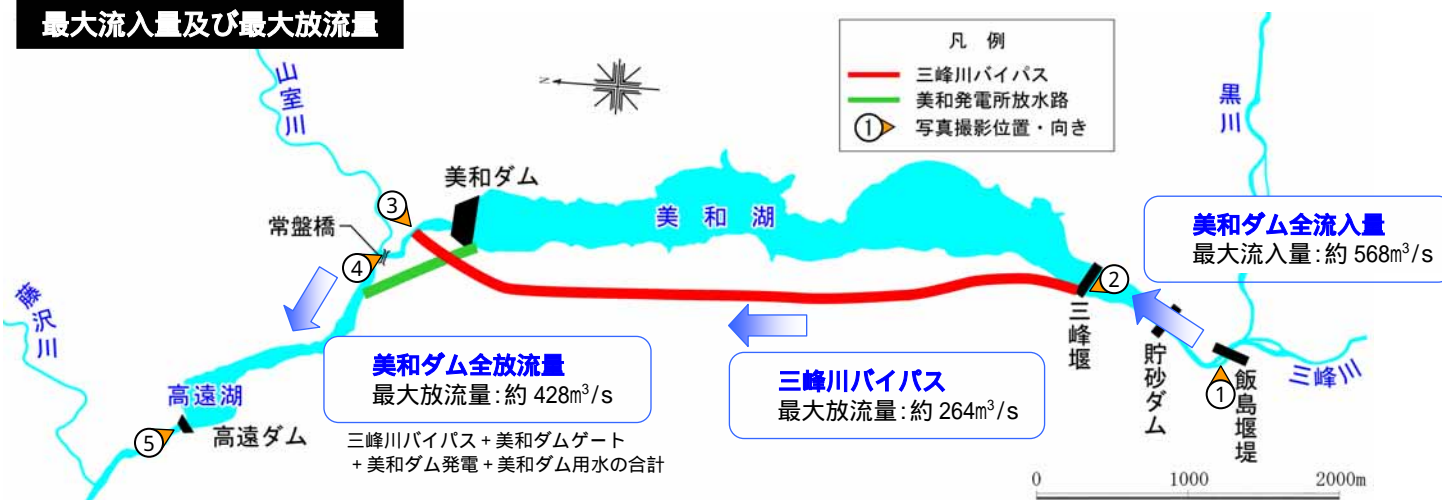
注)ここに表示されているデータは速報値です。

美和ダムでは、台風9号の影響による出水のため洪水調節を実施しました。最大流入量は約568m³/s、最大放流量は約428 m³/sで、そのうち三峰川バイパスより、H19/9/6 22:30～9/8 22:40の約48時間、最大約264m³/sの放流を行いました。

【速報値】

- 三峰川バイパス最大放流量：約264 m³/s (2007/9/7 00:10)
- 美和ダム最大放流量：約428 m³/s (2007/9/7 00:20)
- 美和ダム最大流入量：約568 m³/s (2007/9/6 23:50)
- 総雨量(流域平均)：約254 mm (2007/9/5 11:00～9/7 12:00)

最大流入量及び最大放流量



バイパス放流時の状況

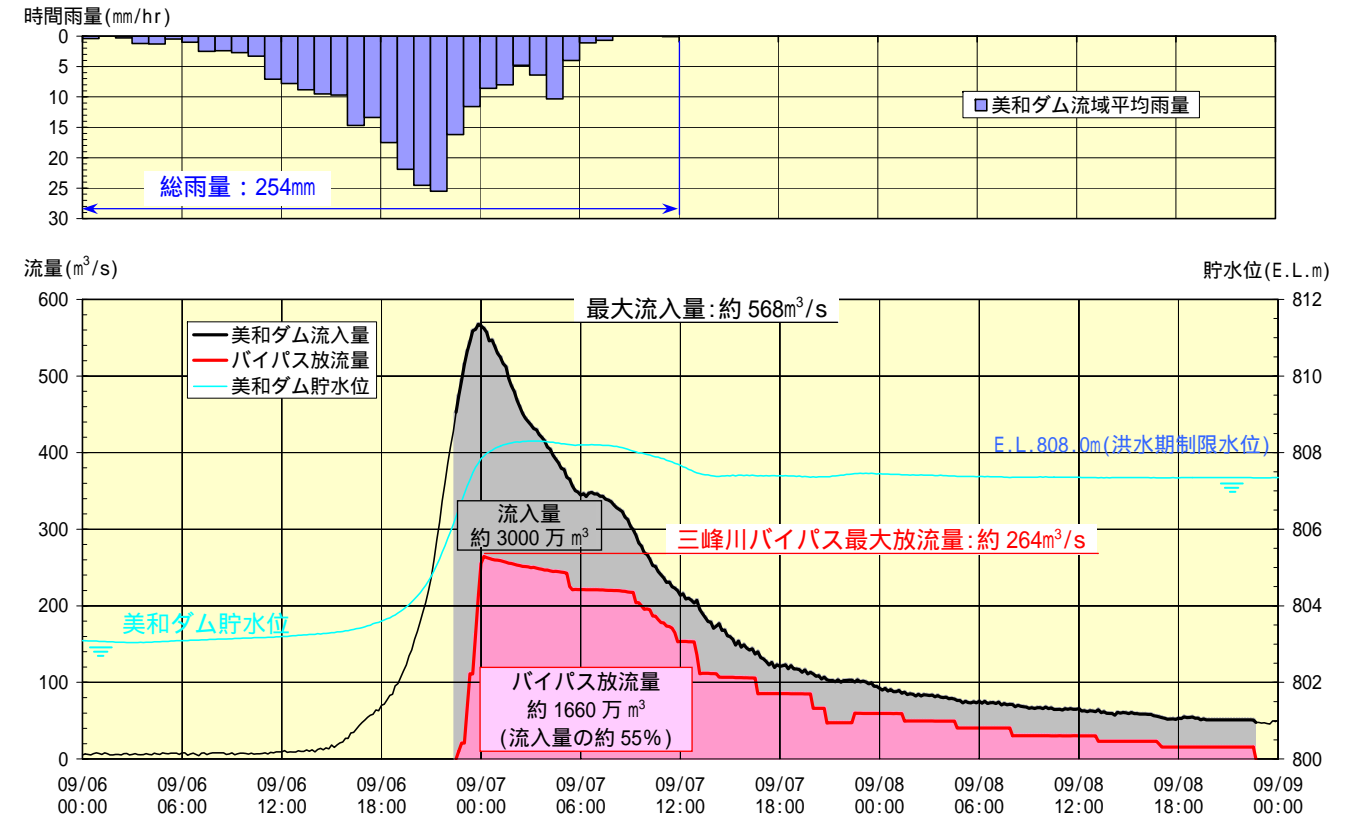
美和ダム周辺における各地点の放流時の状況写真です。



放流量の時間変化

美和ダムへの流入量と三峰川バイパスによる放流量の時間変化は、以下の図のとおりです。

今回の洪水では、流入量が約450m³/sを超えてから約50m³/sを切るまでの時間で運用され、この期間のダムへの流入量約3000万m³(黒線)のうち、三峰川バイパス(赤線、ピンク塗りつぶし)により約1660万m³を放流し、上流域からの濁水の約55%を下流へバイパスしました。



下流河川環境への影響

洪水前、洪水時、三峰川バイパス放流終了後における下流河川の状況は、下記の写真のとおりです。

洪水前、洪水時、放流終了後の河川の状況（三峰川7.6km 伊那市下山田地先）



下流河川環境へのバイパス放流の影響を評価するための環境調査を実施します。

